

マンスリー・プロジェクト

Monthly Project

2シーズン目にはいり、ますます充実した内容で皆様をお待ちしています！
新国立劇場でお会いしましょう

宮田慶子

2011. 9 月 リーディング公演

三島由紀夫作 近代能楽集『邯鄲』
かんたん

出演：演劇研究所修了生 演出：宮田慶子

10 月 演劇講座

日本的美意識とは何か

講師：高階秀爾

11 月 トークセッション

美×劇

出席者：白井 晃／宮城 聡／宮田慶子 聞き手：佐藤 優

12 月 演劇講座

シリーズ「日本の劇」Ⅳ

新劇が新劇であった時代

講師：ふじたあさや

2012. 1 月 演劇講座

シリーズ「日本の劇」Ⅴ

否定のエネルギーが生み出したもの

講師：ふじたあさや ゲスト：流山児 祥

2 月 演劇講座

シリーズ「日本の劇」Ⅵ

破壊から再構築へ

講師：ふじたあさや

3 月 スペシャルトーク

鄭義信 三作品をふりかえる

—「たとえば野に咲く花のように」

『焼肉ドラゴン』『パーマ屋スマイル』をめぐって—

出席者：鄭 義信 聞き手：内田洋一

宮田慶子芸術監督のもと、2010/2011 シーズンより始まった【マンスリー・プロジェクト】。新シーズンはさらにパワーアップ、前シーズンに続くシリーズ「日本の劇」をはじめ、多彩な講師、出席者による演劇講座、トークセッション、そしてリーディング公演など、いずれも聞き逃せない企画が揃いました。演劇公演をより楽しむために、お気軽に【マンスリー・プロジェクト】へお越しください。

4月以降の予定

4 月 トークセッション

戯曲を書くということ

出席者：倉持 裕／蓬萊竜太／前川知大 聞き手：鈴木理映子

5 月 リーディング公演

海外戯曲の小品から

出演：演劇研究所研修生 演出：宮田慶子

6 月 演劇講座〈タイトル未定〉

講師：平野啓一郎

7 月 演劇講座

ハロルド・ピンターの世界

講師：喜志哲雄

8 月 ワークショップ

夏休み特別企画

子どもと親のコミュニケーション・ワークショップ

講師：西垣耕造

日時・会場・参加方法等は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

新国立劇場 情報センター Tel.03-5351-3011(代)

詳しくは http://www.nntt.jac.go.jp/play/20000400_play.html



新国立劇場

NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

<http://www.nntt.jac.go.jp/play/>

2011.9月

28(水) 6:30 / 10月1(土) 5:30 小劇場

リーディング公演

三島由紀夫作 近代能楽集『^{かんたん}邯鄲』

出演：演劇研修所修了生 演出：宮田慶子

応募期間：8/9(火)～9/19(月)

青年・次郎が、田舎で静かに暮らす元乳母の菊を訪ね、唐土から来たという枕で眠る一夜のうちに、夢の中で自分の一生を見てしまう——。能の夢幻を近代戯曲として展開した珠玉の作品を、リーディングで。

10月

22(土) 5:00 小劇場

演劇講座

日本の美意識とは何か

講師：高階秀爾(大原美術館館長・東京大学名誉教授)

応募期間：9/20(火)～10/10(月)

秋の夜の虫の音は日本人には深い美的感興を呼び起こすが、西洋人には単なる雑音にしか聞こえないという。美術、文学、演劇などの芸術表現を通じて、日本人の美意識の特質を考える。

11月

12(土) 5:30 中劇場

トークセッション

美×劇

出席者：白井 晃(演出家・俳優) / 宮城 聡(演出家・静岡県舞台芸術センター芸術総監督) / 宮田慶子

聞き手：佐藤 優(編集者)

応募期間：10/11(火)～31(月)

今年、奇しくも同じ作品『天守物語』を手がける二人の演出家、宮城聡氏(6月・SPAC公演)と、白井晃氏(11月・新国立劇場公演)が、作品の魅力と、鏡花戯曲に流れる美意識について熱く語り合う。

12月

2(金) 6:30 / 5(月) 6:30 5階 情報センター

演劇講座 シリーズ「日本の劇」IV

新劇が新劇であった時代

講師：ふじたあさや(劇作家・演出家・昭和音楽大学客員教授)

応募期間：11/1(火)～21(月) 定員：各回50名程度

新劇は戦前、戦中をどう受け継ぎ、どう忘れ去ってきたのか。映画とラジオ、テレビに支えられ、鑑賞組織に依拠しながら、数々の名舞台を作ってきた新劇。それは、しかし次の世代からは、否定すべき体質に見えていた。

2012.1月

13(金) 6:30 オペラパレス ホワイエ

演劇講座 シリーズ「日本の劇」V

否定のエネルギーが生み出したもの

講師：ふじたあさや(劇作家・演出家・昭和音楽大学客員教授)

ゲスト：流山児祥(演出家・劇作家・俳優)

応募期間：12/6(火)～26(月)

新劇を否定し、演劇の新しい地平を目指す、60年代の演劇革命。後にアングラという言葉でくくられることになる彼らの試みは、破壊のエネルギーに満ち満ちていた。彼らは何を破壊し、何を受け継ぎ、何を生み出したのか？

2月

2(木) 6:30 / 3(金) 6:30 5階 情報センター

演劇講座 シリーズ「日本の劇」VI

破壊から再構築へ

講師：ふじたあさや(劇作家・演出家・昭和音楽大学客員教授)

応募期間：12/27(火)～1/23(月) 定員：各回50名程度

アングラの次に小劇場の時代が来た——という言い方があるが、小劇場という言い方でくれるのか。くくられることを拒否するさまざまな個。多様なそのさまざまな個を、ゆるやかにつなぐ「演劇という川」。

3月

17(土) 5:30 小劇場

スペシャルトーク

鄭義信 三作品をふりかえる

—『たとえば野に咲く花のように』

『焼肉ドラゴン』『パーマ屋スマイル』をめぐる—

出席者：鄭 義信(劇作家・演出家)

聞き手：内田洋一(日本経済新聞文化部編集委員)

応募期間：2/14(火)～3/5(月)

1950年から70年へ、戦後復興から高度経済成長を遂げた日本の光と影。底辺からの目線で、悲喜劇として在日コリアンを描いた三作品をふまえ、過去の作品も交えながら鄭義信の世界を語る。

参加方法：入場は無料です。ただし、HP (<http://www.nntt.jac.go.jp/play>) または往復ハガキでの事前のお申し込みが必要です。往復ハガキの場合、プロジェクト名(開催日時)、参加人数(2名まで)、お名前、電話番号をご記入ください。また返信ハガキの表には住所をご記入の上、〒151-0071 渋谷区本町1-1-1 新国立劇場情報センター「マンスリープロジェクト」受付係 までお送りください。

- 1プロジェクトにつきお一人様1回の応募とさせていただきます。
 - 往復ハガキの場合は、受付開始日から締切日当日までの消印を有効とします。●先着順に受け付けますので、定員に達した場合は締切日より前に応募を締め切ります。
- お客様の情報は、本プロジェクトの緊急連絡や当劇場主催の公演等のご案内にお送りするため以外の目的では使用いたしません。

※2回開催の場合は同じ内容です。
※やむを得ない事情により、日程・出演者等が変更になる場合があります。